「宇都宮市自治基本条例を考える会議」提言書の概要

1 条例の意義・必要性

この条例は、地方分権が進む中、多様な主体が協働することを基礎とした、市民主体のまちづくりを確立するために必要となる、基本的で普遍的な事項及び仕組みを定めるものであり、その究極的な必要性・意義は、宇都宮市民がさらに幸せに暮らせるようにすることである。

以下に、その項目を挙げる。

- (1) 目指すべき自治の姿の共有化
- (2) 自立した自治運営の確立
- (3) 権利と責務の明確化
- (4) 市民意識の高揚，改革
- (5) 市民参加・市民協働の推進
- (6) 自治運営の仕組み等の位置づけの明確化

2 基本的な考え方

条例の意義・必要性を受け、この条例の基本的な考え方は以下のとおりである。

- (1) 宇都宮市らしい自治を育むための条例とする。
- (2) 広く市民に理解される，わかりやすい条例とする。
- (3) 長く市民に親しまれる条例とする。

3 条例に盛り込むべき項目

(1) 前文

- ・ 宇都宮市の歴史・文化
- ・ 自治への取組，目指すべき自治のかたち，あるべき姿
- ・ 市民の主体性・協働の重要性
- ・ 自治基本条例を制定する意義

(2) 総則

- ・ 条例の目的，文言の定義，条例の位置付け

(3) 自治の理念

- ・ 市民主体のまちづくりの確立
- ・ 市民がさらに幸せに暮らせるようにすること

(4) 基本原則

- ・ 自己決定，自己責任
- ・ 個人の尊厳
- ・ 協働
- ・ 情報の共有 等

- (5) 市民等の権利と責務
 - ・ 公共的活動への参画の権利・責務 等
- (6) 議会の役割と責務
 - ・ 市政運営の調査・監視
 - ・ 市民への説明責任・情報公開 等
- (7) 執行機関の役割と責務
 - ・ 公正・公平・誠実な事務の執行
 - ・ 効果的・効率的な行財政運営の遂行 等
- (8) 参画と協働
 - ・ 様々な立場の人々との役割・責任の分担, 協力
 - ・ 地域主体・協働によるまちづくりの推進 等
- (9) 市政運営の基本事項
 - ・ 総合計画による効果的・効率的な政策の推進, 財政運営
 - ・ 事業の評価とその結果公表